

## 開発コンサルタントのための 英語によるプレゼンテーション

### 目 標

本研修は、以下を目標とします。

英語によるプレゼンテーションにおける自分の上手な点、弱い点を認識する。  
プレゼンテーションにおける以下主要5項目を理解し、自分のプレゼンテーションに活かす。

- ・ プレゼンテーションのための準備
- ・ 聴衆者の分析
- ・ 効果的なプレゼンテーション構成、資料作成
- ・ 人前であがらない方法
- ・ 時間管理の方法

日 時	平成 17 年 9 月 9 日 (金) 9 月 16 日 (金) 10:00~17:00【2日間】 9月9日(金)は9時55分から開催いたします。
場 所	当協会会議室 (〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目21番17号 虎ノ門NNビル6階)
定 員	10名 定員を越えた際は、会員企業の参加希望者を優先させていただきます。 一社より複数名参加の場合は、受講者の優先順位をお付けください。 定員の半数に満たない場合は中止とさせていただきます。
対 象	開発コンサルティング企業 (ECFA 会員企業および非会員企業等) 並びに途上国開発に係る公的・民間諸機関・企業等に属する方々。
使用言語	英語
受講料	ECFA 会員 : 29,000 円      非会員 : 36,000 円 研修費・資料代・消費税込
お申込み締め切り	平成 17 年 8 月 29 日 (月) 17:00 必着
お申込み方法	受講申込用紙 <sup>1</sup> にご記入の上、下記へ郵送・FAX・メールのいずれかにてお申込みください。受講者確定後、メールにて受講の可否をお知らせいたします。 お申込み用紙は当協会 Web サイト ( <a href="http://www.ecfa.or.jp/japanese/act-jin.html">http://www.ecfa.or.jp/japanese/act-jin.html</a> ) からダウンロードできます。 プログラムの内容や申し込み方法等、ご不明な点ございましたら担当者までお問い合わせください。 <b>お申込み用紙送付先:</b> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目21番17号 虎ノ門NNビル6階 (社) 海外コンサルティング企業協会 人材育成担当 河野(こうの)宛 Email : kono@ecfa.or.jp      FAX : 03-3593-1172      TEL : 03-3593-1171
受講料お支払い方法	受講者の方には、受講票および請求書を郵送致しますので、 <u>平成 17 年 9 月 5 日 (月)</u> までに銀行振込みにてお支払い下さい。なお、一旦納入されました受講料は返金致しかねますのでご了承ください。
キャンセルについて	本研修は、講師の急な予定変更などにより中止をせざるを得ない状況が生じた場合、開催を中止させていただきますのでご了承ください。中止決定の際は、すみやかにお知らせし、受講料はお返し致します。
修了条件	コースの修了証授与には4セッションのうち3セッション以上の出席が必要となります。修了者には ECFA より修了証を授与させていただきます。

<sup>1</sup> ご提出いただいた情報は、本研修のみに使用し、これ以外の目的には使用しません。また、漏洩することのないよう厳重に管理いたします。

## スケジュール

本研修では、各受講生にプレゼンテーション（プレゼンテーションは、ビデオ撮影し、後日メディアにて配布）を行って頂き、講師及び他の受講生からの評価を受けます。講義は、オリジナル教材を使用し行われ、必要に応じて課題も出されます。

### < Day 1 > 9月9日（金）（予定）

Hour	Content
09 : 45-09 : 55	Reception
09 : 55-10 : 00	Opening by ECFA
10 : 00-13 : 00	1. Introductory lecture: points to keep in mind when presenting 2. 5-minute presentations by attendees and evaluations by self + instructor
13 : 00-14 : 00	Lunch
14 : 00-17 : 00	1. Wrap-up of morning session 2. Knowledge transfer 1: The engine of a good presentation! ・ Essential background information; preparing and writing a presentation

### < Day 2 > 9月16日（金）（予定）

Hour	Content
10 : 00-13 : 00	1. Preliminary lecture: performing peer evaluations 2. Second session of 5-minute presentations and evaluations by self + peers
13 : 00-14 : 00	Lunch
14 : 00-17 : 00	1. Wrap-up of morning session 2. Knowledge transfer 2: The paint and polish of a good presentation ・ Delivering presentations; some different types of presentations; what to do after the presentation

スケジュールはやむを得ない事情等により変更することがあります。予めご了承ください。

休憩（コーヒーブレイク）は講師から指示させていただきます。

昼食は各自でおとりください。

受講者の方には、後日フォローアップのアンケートを行わせていただくことがございます。ご協力をお願いいたします。

## 講師紹介

### スティーブン・レイシー（Stephen Lacey） ㈱デジタルサービスインターナショナル

オーストラリアにある New England 大学自然資源科 / Macquarie 大学大学院理化学研究科卒業。政府科学部門の研究員として 12 年間勤務し、その間、科学専門誌に論文・報告を多数発表。プレゼンテーションの理論・技術を研究し、同部門の研究者に対して、ビジネスプレゼンテーションを指導。2001 年に来日後、日本人が書いた英文技術報告書・科学論文、英語プレゼンテーション（PowerPoint）の校正を中心としたテクニカル・エディターを行う一方海外に進出している企業のプレゼンテーション指導も精力的に行う。



専門分野は、環境工学、農業、林業、製紙業、地学・地質学、天然資源、基礎科学（化学、物理学、生物学、環境学）。その他、IT 関係、経済・金融、国際政治、ODA、発酵・醸造技術、写真、宗教、人文科学、スポーツなどの分野も担当。

ネイティブの単に「意味がとれる英語」では満足せず「相手を説得する力のある洗練された英語」へのこだわりがモットー。日本人エンジニア、科学者、学者が世界で通用するコミュニケーションへの協力を至上の喜びとしている。

### セミナー受講者の声



セミナーの様子

講師が考えるプレゼンの手法にのっとった方法でのセミナーで、良い例、悪い例を交えての話があったのでよかったです。プレゼンの手法に関しては、本などによる自己学習だけでなく、実際に行動、発表することによって上達すると思うので、ワークショップなどで実践的に学んでみたいと思いました。様々な例や具体的なデータをもとにお話頂き、とてもわかりやすかったです。

セミナーは 2005 年 6 月に開催いたしました。